

03

CHAPTER

第3章

区民ニーズ

1 子ども・子育て支援ニーズ調査

令和5年度に実施した「墨田区子ども・子育て支援ニーズ調査」（以下「ニーズ調査」という。）の調査報告から児童館の利用実態や児童館に対する保護者やこどものニーズを整理しました。

㊦ 就学前のこどもの保護者

こどもが小学生になったとき、「放課後の時間をどのような場所等で過ごさせたいか」（複数回答）について、「児童館」を選択した割合は低学年のうち34.3%、高学年になったときは30.3%でした。

また、墨田区が実施する子育て支援事業のうち、「児童館、コミュニティ会館」の認知度は67.2%、利用経験は55.1%でした。平成30年度調査ではそれぞれ93.1%、72.6%であることから、認知度と利用経験が大きく減少しています。これは、保護者の就労状況の変化や新型コロナウイルス感染症の流行による社会活動の停滞等が影響しているものと推察されます。一方で満足度は、「満足」・「やや満足」が85.2%と、平成30年度調査時の75.3%を上回っています。

㊧ 小学生の保護者

「放課後の時間にこどもがどのような場所で過ごすことが多いか」の質問に対し、「塾や習い事に行く」の割合が69.6%と最も高く、次いで「家族と過ごす」の割合が63.3%でした。

「学童クラブに行く」は30.3%、「児童館に行く」は15.3%でしたが、平成30年度の調査結果と比較すると、「学童クラブに行く」は3.1%増加し、「児童館に行く」は3%増加しています。

また、墨田区が実施する子育て支援事業のうち、「児童館、コミュニティ会館」の認知度は89.9%、利用経験は67.5%でした。平成30年度調査では96.6%、84.8%だったことから、特に利用経験が大きく減少しています。これは、保護者の就労状況の変化や新型コロナウイルス感染症の流行による社会活動の停滞等が影響しているものと推察します。一方で満足度は、満足・やや満足が85.3%と、平成30年度調査時の79.3%を上回っています。

さらに、子育てに関して知りたい情報として、「各種子育て支援事業（児童館や学童保育等）の利用申請オンライン化」を求める割合は53.2%、「地域子育て支援拠点事業や児童館等の支援サービスに関する情報」の割合が34.1%となっています。

㊨ 成人前調査（小学4～6年生）

「友人と遊ぶとき、どこで遊ぶことが多いか」の質問に対し、「公園や児童遊園」の割合が71.0%と最も高く、「児童館や区民ひろば」の割合が28.0%となっています。

また、「児童館がどのような場所だと良いか」の質問に対し、「スポーツや運動ができる場」の割合が52.2%、「同世代と話ができる場」が35.4%でした。体を動かす遊びや友人との交流を求める声が多い一方で、「学習や勉強を教えてくれる人がいる場」が18.2%、「自分の勉強ができる場」が16.8%と、学習に対するニーズがあることも分かりました。

㊦ 成人前調査（中学生・高校生等）

月曜日から金曜日の放課後に過ごす場所として、「児童館を利用することが多い」と回答した割合は中学生が 12.6%、高校生等が 7.5%となりました。平成 30 年度調査時は中学生が 0.4%、高校生等が 0.0%だったことから、中・高校生世代の児童館の利用や利用ニーズが高まっていることが分かります。

また、「児童館がどのような場所だと良いか」の質問に対しては、小学 4～6 年生同様に、「スポーツや運動ができる場」「同世代と話ができる場」を求める声が多くありました。なお、学習に対するニーズ、特に「自分の勉強ができる場」についてのニーズもあり、その割合は、中学生 24.8%、高校生等 28.5%と、年齢が上がるほど高くなっています。



2 児童館に対する意識や利用実態に係るアンケート調査

児童館に対する意識や利用実態等を把握するアンケート調査（以下、「アンケート調査」という。）を下表のとおり実施しました。

ただし、高校生世代 50 名、保護者 75 名と回答数が少ないため、データの読み取りには留意が必要です。

表 調査対象、回答数、実施期間・場所

対象	回答数	実施期間・場所
小学生	1,960	令和 6 年 9 月 2 日（月）から 9 月 13 日（金）まで 小学校 5 校、中学校 3 校にて実施
中学生	1,208	
高校生世代	50	令和 6 年 9 月 4 日（水）から 10 月 4 日（金）まで 区内全児童館にて実施
保護者	75	
計	3,293	

ア 小学生

小学 1 年生の児童館認知度は 61.1%、小学 2 年生は 78.8%、小学 3 年生以上は全ての学年で 85～87%と、小学 3 年生までにかけて上昇していき、その後は横ばい傾向となりました。児童館の利用経験が「ある」割合は 85.1%で、「週に 1 日以上行く」割合は 42.8%（うち、11.5%⁶が週 5 日以上）でしたが、学年が上がるほど利用頻度が下がる傾向がありました。

児童館に行かない理由（複数回答）は、「ほかの場所で遊ぶ」の割合が 45.1%、「習い事」が 39.7%と高いですが、「家から遠い」18.1%、「どこにあるか知らない」16.0%、「何ができるか知らない」11.8%という回答もありました。

また、児童館で人気の遊び（複数回答）は、「運動（ドッジボール等）」の割合が 50.0%、「おもちゃで遊ぶ」49.6%、「漫画や本を読む」39.4%、「友達とのおしゃべり」39.1%でした。

一方、児童館にあったら良いもの（複数回答）は、「大きなアスレチック・ジャングルジム」の割合が 62.2%、「広い体育館」47.9%となっています。

⁶ 児童館内の学童クラブを利用する児童が含まれている可能性があります。

④ 中学生

児童館認知度は91%でした。そのうち、約半数(47.5%)が中学生以降にも利用経験がありますが、学年が上がるとともに利用頻度は下がっていきます。中学生以降、あまり児童館にいかない理由(複数回答)は、「部活・習い事・塾等で忙しい」の割合が58.4%、「他の場所で遊ぶ」が43.2%、「家から遠い」が17.4%でした。

また、児童館で人気の遊び(複数回答)は、「運動(バスケット・卓球等)」の割合が62.3%、「友達とおしゃべり」52.7%、「漫画を読む」32.8%、でした。

一方で、児童館の良くないところ(複数回答)は「施設や設備が古い」の割合が26.8%、「施設が狭い」が24.5%と施設や設備に対するものだけでなく、「小学生が多く居場所がない」26.1%、「中学生向けのイベントが少ない」24.5%、「やりたいスポーツや遊びができない」21.5%、「中高生タイム(中・高校生世代を中心とした時間)が短い」20.7%等の課題が挙げられていました。

なお、児童館がどのような場所だと良いか(複数回答)は、「スポーツや運動ができる」の割合が50.2%と最も多くなりました。他にも、「友だちや職員と楽しく遊び交流できる」45.0%、「同世代と話ができる」39.7%等、コミュニケーションや交流を求めるものや、「自分の勉強ができる」39.9%、「勉強を教えてくれる人がある」22.5%と、学習に関するニーズもありました。

⑤ 高校生世代

利用者の住まいについて、区内、墨田区外の割合はちょうど半数ですが、学年が上がるにつれ、墨田区外の割合が上昇しました。通っている学校は「墨田区内の高校」の割合が50.0%、「墨田区外」の高校が46.0%、その他が4.0%でした。

児童館を利用する目的(複数回答)は、「バンド練習」の割合が46.0%、「友だちと雑談」が30.0%、「運動(バスケット・卓球等)」が24.0%でした。

児童館への不満点は「高校生向けのイベントが少ない」の割合が28.0%、「開館時間が短い」が28.0%、「施設や設備が古い」が26.0%でした。

また、「悩み事について児童館職員に相談できる」と回答した割合は70.0%でした。一方で相談できないこともあり、相談できない理由(複数回答)としては、「相談できるほど職員と仲良くない」の割合が60.0%、「家族や友人等、他に相談できる人がある」が46.7%でした。

⑤ 保護者

利用者の住まいについて、「区内」の割合が 97.3%でした。児童館を利用する頻度は「週 1 日以上」の割合が 76.0%で、来館目的（複数回答）は「乳幼児室の利用」の割合が 66.7%、「乳幼児クラス活動への参加」が 46.7%、「夏祭りやクリスマス会等への参加」が 38.7%でした。

児童館の良いところは、「子どもを安全・安心に遊ばせることができる」の割合が 89.3%で最も多く、「無料で子どもを遊ばせられる」が 78.7%、「同年代の子どもと遊ぶことができる」が 70.7%でした。

児童館にあったら良いと思うものは、「広い体育館」の割合が 68.0%、「体験活動（キャンプ、農業体験、ボランティア等）」が 66.7%、「静かに勉強ができるスペース」が 54.7%、「施設を綺麗にする工事の実施」が 52.0%でした。

また、「児童館職員に悩み事を相談したことがある」の割合は 28.0%でした。相談しない理由は「家族や友人等、他に相談できる人がある」の割合が 40.7%、「相談できるほど職員と仲良くない」が 29.6%、「児童館で子育て相談できることを知らなかった」「特に悩んでいない」が共に 20.4%でした。

